

運営懇談会

対象施設

- ・ サービス付き高齢者向け住宅 まごの手
- ・ 健康型有料老人ホーム まごの手

◆現状報告◆

(令和 6年 6月 1 日時点)

○サービス付き高齢者向け住宅及び有料老人ホームの現状

サービス付き高齢者向け住宅入居状況：8名（2F：全8室）

有料老人ホーム入居状況：3名（1F：全4室）

○決算報告書（別紙資料）

○施設の課題：サービス付き高齢者向け住宅と有料老人ホームは共に健康型入居施設である為、入居者様が要介護状態（食事、排泄、移動等に介助が必要である）となった場合、介護対応施設への転居を余儀なくされる。

○今後の課題と対応策

現在は住宅型と健康型を併せ持った施設となっておりますが、介護付施設（要介護者対応）を目指す場合、要介護者の介護経験者や夜勤対応が可能なスタッフが必須となるが、人材の確保が難題となる。

現状、医療福祉従事者の不足によりスタッフの確保は困難であり、現状の施設スタイルが望ましい状況です。

周辺地域にある特別養護老人ホームや老人保健施設（介護院）、グループホームとの情報共有や連携を図り、万が一要介護状態となった場合、スムーズな移行ができるよう斡旋します。